

平成19年3月定例会

記者発表 / 市長

(平成19年度当初予算)

平成19年2月19日

佐世保市財務部

平成19年度予算の概要 (当初予算)

予算編成にあたって(基本方針)

地域経済は今後も厳しい状況が続くものと思われ、本市財政も福祉医療分野での自然増に加え、税収の伸び悩み、地方財政の縮減見直しなどにより厳しい状況にあります。

しかしながら、基礎自治体である佐世保市には、教育、福祉、安全などの重要な役割があり、住民が安心して暮らせるように行政サービスを切れ目なく提供し続けるとともに、活力ある地域を創出することが責務として求められていると考えます。

このような中、平成19年4月の市長選挙を考慮し、新規施策等の政策的な経費につきましては、選挙後の新市長のもとで決定されるべきであります。景気の下支えの側面からも切れ目のない公共事業等の予算執行が求められていることに鑑み、当初予算を継続的の事業や生活関連事業の一部を計上する骨格予算として編成することとしました。

平成19年度予算編成の基本方針は次のとおりです。

- (1) 当初予算には、義務的経費・経常的経費を中心に計上し、上半期の事業量を確保するため、継続的に行っている公共事業の40%程度を計上する。
- (2) 当初予算には、新規事業のうち従来取り組んできた施策に係るものや早急な着手が必要なものを計上する。
- (3) 補正予算は、最終的には新市長のもとでの編成となるが、新規政策的経費、国・県の補助確定及び起債の決定が必要な事業費、災害等の突発的な事業費を想定する。
- (4) 平成19年度『佐世保市経営方針』(構造改革に集中し、よ

りよいまちづくりを進める年)に基づいた、年間予算の編成を行う。

幼児期から社会に出るまで一貫して支える子育て・教育の環境(社会システム)づくり

誰もが安心して安全に暮らせるまちづくり

観光交流による活力あふれる地域づくり

平成19年度当初予算の概要

- 1 平成19年度の当初予算は、全会計で前年度比3.7%減の2,131億円となっています。内訳は一般会計が9.9%減の880億円、特別会計が1.3%増の916億円、企業会計が1.1%増の335億円です。

(単位:千円、%)

会 計	平成19年度	平成18年度	増 減 額	前年度比
一般会計	87,993,258	97,680,922	9,687,664	9.9
特別会計	91,618,631	90,475,681	1,142,950	1.3
企業会計	33,462,748	33,099,064	363,684	1.1
合 計	213,074,637	221,255,667	8,181,030	3.7

- (1) 一般会計は97億円の減となっていますが、これは

扶助費の増 4億円

建設事業の減 71億円

合併市町村振興基金の減 28億円

などによるものです。

- (2) 特別会計は11億円の増となっていますが、国保、介護の

2 会計の増（39 億円）、青果市場の建設終了による卸売市場会計の減（23 億円）などによるものです。

- (3) 企業会計は4 億円の増となっていますが、下水道事業の進捗による増、看護体制整備による総合病院の増などによるものです。

一般会計予算の概要

1 会計規模

一般会計の規模は、前年度比9.9%減の880 億円となっています。

編成に当たっては、地方財政の縮減などによる歳入の伸び悩み、少子高齢化に伴う福祉医療分野の自然増など、財政環境は厳しさが増し、大幅な財源不足が予想されたことから、単年度収支不足の縮減、経営方針に基づく施策への重点配分を念頭に置きました。

また、自主財源の確保策として、（一部については既に平成18 年度から導入していますが、）有料広告の導入に取り組みます。6 部8 課において2,230 万円の効果（広告収入から費用を除いたもの）を見込んでいます。

2 重点施策

(1) 経営方針に基づく施策

第一に人口減少・少子高齢化への対応を掲げており、地域による子育て支援の基盤を強化し、連帯感のあるコミュニティーの形成や生涯学習の再構築などに努めます。

また、犯罪、災害や健康被害など、様々な危機に対応できる環境の整備を図り、誰もが安心して安全に暮らせる、危機

に強いまちづくりを進めます。

子ども子育て応援センター

子どものインフルエンザ予防接種費用助成

子育てボイスアップ

少人数指導支援

特別支援補助指導員派遣

幼稚園就園奨励補助

防犯灯維持管理補助

メディカルコントロール

次に、観光交流による活力あふれる地域づくりをめざし、観光交流を本市のリーディング産業と位置づけています。

このため、九十九島やハウステンボスなど、環境保全を推進し自然との調和を大切にした本市独自の観光資源を中心に、観光交流と農林水産業、環境、商業など他の産業との連携を図りながら、観光都市佐世保の実現に向け努力していきます。

産学官連携技術振興

エコツーリズム推進

観光客誘致促進

動植物園活性化計画

食育につきましては、偏った栄養摂取、朝食の欠食などが指摘され、子どもたちのみならず親世代も食を大切にする心と望ましい食習慣を身につけることは極めて重要です。

食育は生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものとの位置づけから、本市の将来にもかかわる重要な課題であると認識し、食育を幼児期などのできるだけ早い時期から生涯を通じ、幅広い分野で推進していきま

す。

食育推進

食育のモデル事業

平成19年度は昨年度に引き続き「構造改革に集中し、よりよいまちづくりを進める年」と位置づけており、安定した行政サービスを提供するためには、自発的かつ持続的な改革が必要であり、従来手法を見直し、改革・改善につなげることにより、行政の遺伝子治療ともいうべき「市役所の体質改革」を引き続き推進します。

総合計画策定

庁内情報化基盤整備

道路整備プログラム、河川整備基本方針

新市政広報番組制作

(2) 一体化の推進

まちづくり計画に沿って、一体化を促進し、地域の均衡ある発展と市民福祉の向上をめざします。

行財政の効率化を進めながら、重点的な投資とサービスの向上を図ることが重要であり、合併協議において決定されたことを着実に実行に移すとともに、まちづくり計画の主要事業については合併特例債を活用することとし、また、過疎地域自立促進計画についてもできる限り事業を計上しています。

主な事業

- 1 子ども子育て応援センター 23,230千円
子どもに関する一元化相談窓口
- 2 こどものインフルエンザ予防接種費用助成 68,900千円
小学校6年生までの予防接種費用の一部助成
- 3 子育てボイスアップ 1,301千円
子育て携帯サイト運営・メールマガジン発行、広報広聴
あり方検討
- 4 少人数指導支援 78,978千円
習熟度別学習の推進、非常勤講師 35人
- 5 特別支援教育補助指導員派遣 39,058千円
教育活動に支障がある学級の補助指導員 22人
27人
- 6 私立幼稚園就園奨励費補助 366,104千円
私立幼稚園における保護者負担の軽減
- 7 防犯灯維持管理補助 45,472千円
防犯灯電気料金補助 補助率100%
- 8 メディカルコントロール事業 4,617千円
救急隊員が行う応急処置の質を向上させるための体制整
備
- 9 産学官連携技術振興事業 2,500千円
市内製造業の課題やニーズの調査分析
- 10 エコツーリズム推進 11,500千円
受け皿組織の育成、ガイド養成、モニターツアー実施
- 11 動植物園活性化計画事業 3,000千円
活性化基本計画策定

- 1 2 観光客誘致促進事業 1 9 0 , 1 1 9 千円
観光コンベンション協会事業補助、アモイ招聘
- 1 3 食育 1 9 9 , 7 2 1 千円
食育推進会議による食育推進、学校・地域での生ごみ堆肥化のモデル事業、遊休農地活用によるモデル事業など
- 1 4 総合計画策定 2 0 , 0 0 0 千円
第6次総合計画策定
- 1 5 庁内情報化基盤整備事業 7 5 , 5 8 2 千円
一人1台パソコンのリプレース、通信回線の維持管理
- 1 6 道路整備プログラム、河川整備基本方針 2 3 , 2 0 0 千円
道路政策・河川政策の将来ビジョンを明らかにし、計画的・効果的な整備プログラムを策定
- 1 7 新市政広報番組制作事業 5 , 3 2 1 千円
わかりやすい広報番組の制作
- 1 8 西部芳世苑建替 1 , 0 3 9 , 2 8 1 千円
老朽化した施設の建替（昭和47年建設）
平成17年度～20年度（全体約20億円）
- 1 9 焼却灰溶融施設建設 3 3 1 , 9 5 5 千円
焼却灰を溶融し最終処分場への埋立量を縮減
平成17年度～20年度（全体約40億円）
- 2 0 庁舎等施設整備（高砂街区再整備関連） 7 , 5 0 0 千円
新保健福祉センター建設に伴う本庁舎駐車場確保
平成17年度～21年度（全体約70億円）
- 2 1 栄・常盤地区市街地再開発 7 6 2 , 5 0 0 千円
市街地再開発に対する補助、事業主体は再開発組合